

### 開館15周年記念 3回連続ワークショップ(1回目) 「思い出の布を使って自分の顔の旗をつくろう！」

**平**成9年10月8日に開館した当美術館は、今年で開館15周年を迎えます。これを記念し、グラフィックデザイナーの笹川アツコ氏を講師に招き、これまで育んできた思い出と、これから歩いていく未来を題材に、10月から12月にかけて3回連続のワークショップを開催します。

第1回目は、古着や端切れなどの参加者の思い出の布を使って、自分の顔をデザインした旗を作ります。

出来上がった旗は、美術館の応援フラッグとして館内のカフェに飾ります。一緒に開館15周年を盛り上げませんか。

と き：10月8日(月・祝) 午前10時～午後2時  
※正午～午後1時休憩(各自昼食)

講 師：笹川アツコ氏(グラフィックデザイナー)

参 加 料：500円(展示室観覧料込み、飲み物付き)

定 員：15名(先着順) ※誰でも参加できます。

持 ち 物：参加者の思い出のある布(A3サイズくらいの大きさの布1枚の他、コラージュ用の布数枚)、リボンや毛糸など布と一緒に貼り合わせたい素材、ハサミ

参加方法：9月5日(水)から、美術館へ電話で申し込む。



おもしろい顔大歓迎です！

## 参加者の声でつなぐ 公民館の教室・講座紹介

### ⑩ 浴衣の着付け教室(藤原公民館)

浴衣の着付け教室は、7月5日・12日の全2回、藤原公民館で開催されました。伊藤呉服店の伊藤恵子さんが講師を務め、幅広い年代の女性10名が参加しました。

取材当日は、教室の初日というところで、初心者の方に向けた分かりやすい内容でした。着物離れが進む昨今、浴衣に親しんでもらうために、簡単な浴衣の着付けの方法や、美しく着こなす方法、着る楽しみなどを和やかな雰囲気の中で習いました。

この教室に参加した阿久津さん(鬼怒川)に聞きました。Q 教室に参加したきっかけを教えてください。A 以前、ピラティス教室に参加

したとき、知人に誘われたのがきっかけです。

Q 教室の感想を聞かせてください。A 初めて着付けを習ったけれど、講師の先生に丁寧に教えていただけで、とても楽しかったです。

Q 今後の目標を教えてください。A 夏が近く、祭りなどのイベントがたくさんあるので、自分で浴衣を着られるようになりたいです。頑張ります。

浴衣を着ていくにつれ、背筋が凜と伸びていき、徐々に表情が輝いていく参加者の皆さん。とてもすてきでした。

あなたも浴衣を着て、いつもと少し違った夏を味わってみませんか。



帯の締め方を学びます



講師の伊藤さん



最後に皆で艶やかに

## 歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎0286-217  
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)  
休館日 毎週月曜日、祝日

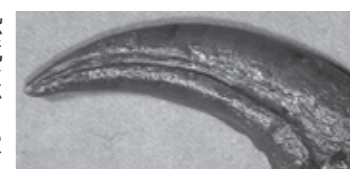
### ◆企画展紹介⑧

#### 「三恐竜展」パーツもビッグな爬虫類④

多くの肉食恐竜の歯は、鋭くこがり、肉を切り裂きやすいように縁がギザギザになっています。また、抜けても大丈夫なように2列になっていたり、すぐ下に次の歯が控えていたりします(写真①)。



①ティラノサウルスの下顎と歯



②ペロキラプトルのかぎ爪



③カマラサウルスの歯

恐竜は、ハサミのようなかみ合わせで、硬いものでもかみ切れるようになっていきます。今回の恐竜展は「ビッグな」とうたっています。多くの大型植物食恐竜の歯は驚くほど小さなものですが、何百本という本数なのでやはりスケールはビッグです。

### ◆催し◆

- ◆企画展「三恐竜展」パーツもビッグな爬虫類」9月9日(日)まで
- ◆企画展「林道で見られる植物」千本木丘陵周辺植物調査から」9月15日(土)～11月18日(日)

## 市民文芸

### 川柳 選者 日野原元児

子育てを孫に切り替え走る日々 田中福江  
世の中で一番の福抱いて寝る 新家 守  
とりあえず欠席とだけ言っておく 吉原一典  
退屈な理由はないが石を蹴る 吉新勝夫  
がむしゃらに行けば後ろに道ができ 安井貴子  
コンパクト閉じてけじめをつけた恋 大橋芳明  
鉛筆があれば静かに母と書く 萩原鹿声

### 俳句 選者 須藤火珠男

洗顔の水清らかに柿若葉 星野恒志  
ここだけの内緒の話水羊羹 渡辺ミチ子  
紫陽花や一座の如く土手に在り 星野シズ  
一人居の軒に迷ひし恋蛭 池田三夫  
あの時もこの風中に黄菅ゆれ 松本武久  
燕とぶ波形正しき心電図 湯沢くに

### 短歌 選者 阿久津伸一

君逝きて空の無常を惜しむとも呼び止められぬ笑顔かえらず 関根眞佐子  
千年の石苔むしてしんしんと芭蕉も拝せし雲巖寺かな 福田きくい  
この家と共に生き来し母なれど足萎えし今帰る術なし 狐塚昭子  
人の心知りたるごとく紫陽花の花はそれぞれの色に咲きたり 村田登美  
夏休み待ちきれざるか床滑の瀬に水遊ぶ声のひびかう 湯沢登久栄  
山裾の捨畑に残る梅の木は誰に見せよと今花さかる 池田三夫  
僕の肩かすよと小さな膝を折る曾孫の仕草ありがたきかな 北崎 君

### 作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください(二重投稿は不可)。  
なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。  
応募先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係  
☎(21)5135・FAX(21)5109